

第8期坂井市行政改革推進協議会

令和3年度第1回 議事録

令和3年11月2日

会議	第1回 坂井市行政改革推進協議会		記録	承認
日時	令和3年11月2日 (火) 午後2:00～		事務局 草壁	財政課 奥出課長
場所	坂井市役所 3階 災害対策本部室			
出席委員	井上会長、中川委員、清島委員、伊藤委員、中林委員、寺本委員、柏山委員			
欠席委員	細川委員、高緑委員、岡本委員、矢部委員			
事務局	北川副市長、松本総務部長、浦井財務部長、奥出財務部次長兼財政課長、同課木下課長補佐、同課小林課長補佐、同課草壁主任			
資料	資料1 令和2年度の決算状況について 資料2 坂井市行政改革の取り組み状況について 資料3 今後の坂井市の行政改革について			
I 開 会	副市長あいさつ	副市長	<p>皆様こんにちは。まずは一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>本日は大変お忙しい中、令和3年度の第1回行政改革推進協議会にお集まりいただきありがとうございます。日ごろは行政改革についてはもちろん、市政全般にわたりまして、いろいろとご協力、ご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、坂井市も合併して16年ということになりましたが、行政改革は第3期目の、今年が最終年度ということで、これまで3期15年間にわたって取り組んできたところです。今期についても52項目の目標をたてまして、職員一丸となって取り組んでおります。</p> <p>皆様のおかげで坂井市も順調に市政が運営されているのではないかなと思っております。</p> <p>また昨今は新型コロナウイルスの関係でいろいろなイベントや施策について中止なり縮小といったことになりましたが、今後は以前のように戻れるかと期待しているところでございます。</p> <p>さて今日は第1回ということでございますけれども、令和2年度の決算について、また行政改革の取り組み状況についてが議題であります。皆様の忌憚のないご意見をいただき、有意義な会議にしたいと思いますので、ご協力よろしく申し上げます。</p>	
II 会 議	行政改革推進協議会長あいさつ	財政課長	<p>会議の前に、委員名簿をごらんください。7番の社会福祉協議会推薦委員ですが、以前は大霜委員でしたけれども、今回から代わりまして伊藤進委員に参加いただきますのでご報告します。伊藤委員、よろしく申し上げます。</p> <p>また、細川委員、高緑委員、岡本委員、矢部委員につきましては、所要のた</p>	

II 会 議	行政改革推進協議会長 あいさつ	財政課長	<p>め欠席とのご連絡をいただいておりますのでご報告します。</p> <p>それでは会議のほうに入らせていただきます。まずは井上会長からご挨拶いただきまして、その後は会長の進行で進めていただきたいと思います。会長お願いします。</p>
		会長	<p>皆さんこんにちは。本日は令和3年度第1回坂井市行政改革推進協議会を開催しましたところ、皆様におかれましてはたいへんご多忙のなかご出席いただきありがとうございます。</p> <p>久しぶりにこちらに伺いまして、ようやく様々な活動ができるようになってきたなという感じがしますが、特に坂井市については、これまで来たときにはどこかしら工事をしていたものですが、こうやって完成した姿を拝見しますと、坂井市のランドマークというかシンボルというか、市の規模にふさわしい庁舎になったのではないかと思いますし、新しい庁舎で仕事ができるというのは素晴らしいことなのではないかと思います。</p> <p>またさきほどご紹介がありましたけれど、伊藤委員におかれましては今回から委員として参加いただくということで、どうかよろしくお願いします。</p> <p>新型コロナの関係でいろんなことができなくなったり、行政改革についてもやりたいことができなかったということもあったのではないかと思います。一方でこれまでできないと思っていたことがコロナをきっかけに実はできるとわかってきた、といった事もあるのではないかと思います。</p> <p>これからコロナが収束していくことを願っておりますが、これでまた色々なことができるようになると思いますし、またコロナをきっかけで始めたことも今後継続していけるものは続けていただければと思います。そういったことも踏まえながら今回の行革においても皆様のご意見いただけたらと思いますので、よろしくお願いします。</p>
1 令和2年度 の決算状 況について		会長	<p>それでは次第に基づきまして進めていきたいと思っております。まずは議題の1番、令和2年度の決算状況でございます。</p>
		事務局	<p>【資料1】 令和2年度の決算状況について 説明</p>
		会長	<p>ありがとうございました。令和2年度、新型コロナウイルスの蔓延と、それに対する経費といったことをご説明いただけたかと思っております。財政に関しては言葉の意味であるとか、そういったことで普段聞きなれないことも多々あるかと思っております。坂井市の財政はいいのか悪いのか、なかなか一概には言えないところもあるかと思っておりますが、財政状況に関しましてなにかご質問やご意見がありましたら伺います。いかがでしょうか。</p>
		会長	<p>それでは私の方から一点伺いたいのですがよろしいでしょうか。</p> <p>基金の残高のご説明のなかで、競艇から20億のお金が入ってきたということでしたけれども、これは1ページの歳入の資料では諸収入に入っているのですか。なんとなく繰入金なのかなと思ったのですが。その確認がまず一点。</p> <p>もう一点、合併前から旧三国町の競艇というのは結構大きな財源となっていたのだと思うのですが、今回の20億というのも、これまでの経緯、収益から出てきたのだと思います。過去の売り上げなんかを考慮すると、実</p>

II 会 議	1 令和2年 度の決算状 況について	会長	際のところ競艇にはどれくらいの余地といたしますか、繰り入れ可能な額があるのでしょうか。
		副市長	競艇収入ですけれども、旧三国町時代から合併当初にかけては競艇の売り上げが落ち込み、あまり良くなって、市の財政に寄与するというような余力はなかったという経緯があります。それがここ5～6年、売り上げが良くなってきて、特に昨年、今年はコロナ禍の影響があるのかもしれないですけれども、モーニングレースというのを始めたのが好調であったり、特に電話・スマホ投票の売り上げが伸びているという状況です。これがそのまま続くのかどうかはわからないところではあるのですが、市としてはある程度安定的な財源として見込んでいるところです。
		財務部長	最初のご質問ですが、歳入のほうでは会長おっしゃるように諸収入という形で受けています。それをいったん歳出の積立金でまちづくり整備基金というところに積み立てまして、そこから取り崩して歳入の繰入金として、道路整備やハード整備の財源に充てているという流れになります。
		会長	今の副市長のお話では、競艇の売り上げはこれまでの積み上げというよりはコロナ禍でうれしい誤算というか、V字回復したような状況ですか。
		副市長	コロナという要因もあるとは思いますが、売り上げの回復はここ5～6年のことです。
		会長	まちづくり整備基金に積み立てて、どういうふうにご利用されるのか教えてくださいいただけますか。
		財務部長	基金条例で使い方が定められているのですが、主に道路の整備であったり、起債を起こすことができない単独事業での施設整備、修繕などに活用しています。
		委員	コロナで国からのお金が91億あったというふうなお話があったと思いますが、坂井市としてコロナで使ったお金がどれくらいあったのか教えてくださいいただけますか。国と市と、それぞれどうであったか。
		財務部長	まず一人10万円の特別定額給付金の財源が国から91億、そのほかに坂井市からは追加で1人1万円の給付、これは競艇からの収入を財源としてしまして、全部で9億ほどになります。 その他にも国からの地方創生臨時交付金というのがありまして、いろんな経済対策、商品券の発行や小中学校でのコロナ対策など、様々な事業をしました。これが110億ほどになります。
		会長	ほとんどのコロナ対策については国が財源を補償しているのだとは思いますが、1人1万円の給付については市の独自財源で出したということですね。
		会長	今のお話に関連して、今回新型コロナの関係で大きく財政が膨らんでいます。これ自体は仕方のないことだと思うのですが、そうすると今回の資料にはありませんが、経常収支比率への影響が出てきてしまうのではと思うのですが、そのあたりはどうでしょうか。
財政課長	経常収支比率は前年度比で0.3ポイント上がっています。 臨時交付金は特定財源として計上しており、経常収支比率への影響はございません。		

II 会 議	1 令和2年 度の決算状 況について	会長	さきほどのお話では競艇の収益が今後ある程度継続して見込めるということで、今回はまちづくり整備基金に積み立てたわけですけど、今後も競艇からの収入については同様にまちづくりのほうに積み立てていくという方針なのでしょうか。
		財務部長	競艇からの収益については金額的な変動があるとは思いますが、条例で定めておりますので、今後もまちづくり整備基金へ積み立てることになります。
		会長	わかりました。行革のうえで懸念材料としましては、特定目的基金というのは使うために積み立てるものなので、必要だから使うというよりも、宙に浮いたお金が貯まったから使うというふうになってしまう可能性があります。特定財源で積み立てるとなるとそういった懸念が出てくるのですが、そのあたりはどのようにお考えでしょうか。
		財務部長	競艇の会計と市の一般会計は基本的に別物で、今回は税収減やコロナの影響で財源が不足したために競艇にお願いしたというところですよ。決して財源が余るから使ったということではありませんので、ご指摘のような懸念には当たらないのではないかと考えています。
	2 坂井市行政 改革の取 り組み状況 について	会長	それでは2番目、坂井市行政改革の取り組み状況について、ご説明をお願いします。
		事務局	【資料2】 坂井市行政改革の取り組み状況について 説明
		会長	ありがとうございました。それではただいまのご説明について、なにかご質問等ございますか。個別の取り組み状況の確認であったり、どの件についてでも結構です。
		会長	項目の29番、労働者の就業機会の拡大と雇用の安定ということですけども、コロナ禍にあって就職説明会等を実施できなかったとかUIJターンがなかったというのはわかるのですが、非正規雇用の正規雇用転換については市内事業者に対する取り組みだと思っておりますので、実績がゼロになっていきますけど、あまりコロナ禍の影響は関係ないような気がするのですが、いかがでしょうか。どのような状況だったか、詳しい内容はわかりますか。
事務局		詳細に関しては所管課に確認して後ほど報告させていただきます。	
会長		皆様、なにかありませんか。行政改革推進協議会の根幹の部分になりますので、質問や意見というより、感想やコメントのようなものでも結構ですので、できればお一方ずつご発言をお願いします。	
委員		以前もお聞きしたのですが、防災の放送ですね。外にいればいいのですが家の中にいると聞こえにくいということについて、どのようなお考えや対策がありますか。	
会長		防災に関しては行革としてはどこまでの範囲が関わるのか難しいですが、大事な事ですので、ご回答があればお願いします。	
事務局	以前は防災無線しか情報発信ツールがなかったのですが、今は防災無線だけで全てカバーするというよりは、多種多様なツールを使って、様々な角度からいろんな方に情報を提供するという方向性であると聞いています。 ただ防災無線自体が聞こえにくいということは事実としてありますので、技術的な改善ができるのであれば対策をしていきます。		

II 会 議	2 坂井市行政改革の取 り組み状況 について	会長	何か無線で言っているのはわかるけど内容まで聞き取れないというようなときに、何か別の手段で内容が確認できるようにしていくということですね。
		総務部長	少し補足で申し上げますと、防災無線が聞き取りにくいというお声はこれまでも市民の方からいただいております。各種ツールというところでは防災メール、防災アプリ、また登録いただければ電話でのご案内といったシステムの構築もさせていただいており、各々が使いやすいツールを利用させていただきたいと考えておりまして、それらの周知・啓発を進めているところです。
		委員	今の計画が平成 29 年から 5 か年での計画ということで、取組中の項目がたくさんあるのですが、これは本年度末までにやるという目標なのか、それとも来年度以降も続けていくのでしょうか。 もう一点、近年盛んに地球温暖化とか持続可能な社会というようなことが言われておりまして、市としても施設において太陽光エネルギーを使うとか、補助金をつけるとか、いろいろな取り組みが考えられるかと思います。またこういった取り組みは市民ひとりひとりの意識も大切なのだと思います。 坂井市としての計画や目標を設定して市民に PR していくといったことも必要なのだろうかと思います、いかがですか。
		事務局	取組中の事項については基本的には本年度中の達成を目指して目標をたてて進めているところですが、どうしても達成できないものも出てくるかとは思っています。そういったものも、必要であれば今後も取り組んでいくことになります。
		財政課長	今お話しにあった温暖化対策等々、国が推進していますが、市としても今後掲げていかなければならないと考えています。こういったことは長い目で見ていく必要があるかと思います。また、おっしゃる通り一人ひとりの意識の問題も重要であると思いますので、しっかりと支援していくことも必要だというふうに考えています。
		副市長	国では 2050 年までにゼロカーボンという目標を立てておりますけれども、これは市としても計画を立てて、財政課長が言ったように長い目で取り組んでいかなければならないと思います。 試験的にですが、長畝コミュニティセンターに太陽光を設置しようという計画もございます。そういったことには市としても取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。
		会長	行革としてできそうなのは市の公共施設における省エネですとか CO2 排出削減ですとか、そういった部分になると思います。たとえば今庁舎が新しくなったことも省エネのひとつにはなっているのではないかと思います。 そこからさらに市民の意識にまで広げるとなると政策全体のお話になると思っておりますが、行革の範囲にも一部かかってくるころだろうと思っております。 最初のご質問ですが、達成見通しについては今年度が最終年度なので、おそらく次の会議で全体の予測が見えてくるのだろうと思っております。その際にはまたご発言いただけたらと思っております。
		委員	3 ページの項目 4 番、マイナンバーカードですけれども、今坂井市でのカードの交付状況がだいたい 4 人に 1 人ということのようですが、近隣の市町と比べるとこの数字は高いのか低いのか、わかれば教えてください。

II 会 議	2 坂井市行政改革の取り組み状況について	委員	それとコンビニでも住民票などの発行ができるということで、いま全体の3%というのほどの程度の数字なのでしょう。私なんかは安心感があるので役場の窓口に来てしまうのですが、やはり今後コンビニ交付を増やしていきたいという方向性なのでしょう。
		会長	コンビニ交付については資料に令和2年度の数字が出ていますが、令和3年度中はさらに増えているのかということだと思いますが、いかがですか。
		財政課長	正確な数字までは今持ち合わせていないのですが、令和3年度のコンビニ交付率はこれより伸びているというふうに承知しています。 コンビニ交付は窓口業務の軽減でしたり、住民の皆様の利便性向上といった観点から、今後も増やしていきたいという方向です。
		事務局	マイナンバーカード交付実績ですが、令和3年7月現在で累計29,926件、交付率は32.8%です。
		会長	県内で他の市町と比べてということについてはいかがですか。
		財務部長	県内で他の市町と比べると、平均よりやや低めといったところです。
		会長	そんなに極端に低いというわけではないということですね。
		委員	公共施設について、今ある施設、小学校ですとか、耐震工事や修繕ということは非常に大事なのですが、やはり長寿命化にも限度があると思います。 私が思いますのは、四町合併したのですから、次建てる時には、施設は統廃合をして大きな一つの施設を作って市全体で使う、といったことを計画に入れていってはどうでしょうか。また坂井市の場合は皆さんそういう施設には車で来ますので、広い駐車場も整備していくと。 学校なんかでも広い敷地で統合して、通学はスクールバスを利用して登下校の安全を図るとか。 また学校でいいますと児童クラブに入っている子どもは非常に楽しそうに友達と遊んでいるのですが、児童クラブって制限があって、希望者が全員入れるわけではないのですね。やっぱり子どもは家に帰ってゲームをするより、学校に残って友達と遊ぶほうがいいと思いますので、希望した子どもはみんな児童クラブに入って、楽しく安全に遊べるような環境を作っていただきたいなと思います。 今けっこう休耕している農地もあります。そういうところに大きな公共施設、広い駐車場を整備していただくと、子どもたちの遊び場になりますし、災害時にも使えると思います。また大きな敷地があると、大型商業施設なんか来てくれるのではとも思います。 そのためにも丸岡インターからテクノポートまでの高規格道路をいち早く完成させて欲しい。これがなかなか進まないのは国や県の都合があるのかもしれませんが、早期実現のために、市としてより積極的に進めていただけないのかなと思います。いろんな部署や組織にわたる話ですと色々難しい面はあるのだろうとは思いますが、そういったものをなんとか乗り越えるようなやり方はできないのかなと。 行政改革とは関係ないかもしれませんが、どうでしょうか。
		会長	公共施設をどうするかということは行革に入っておりますので、それは関係あるのですが、行革ではどちらかというといかに縮小していくかという発

II 会 議	2 坂井市行政改革の取り組み状況について	会長	<p>想になるものですから、今のお話だとけっこう大がかりなところもあるようでしたが。</p> <p>まちのあり方として、全体的な考え方をどうするのかと、セクションごとで作りづらいいということも確かにあるとは思いますが、なかなかお答えしづらいところもあるかと思いますがいかがですか。</p>
		財務部長	<p>いろいろとご提案いただきましたが、まず公共施設に関しては学校にしてもコミセンにしても今たくさんございます。これらの維持管理費用ですが、第四の義務的経費と言われており、たいへん増えています。坂井市の場合、学校の話がありましたが、小中学校の耐震はだいたい終わっているのですが小学校の大規模改修がまだ残ってしまっていて、コミセンについてはほぼ終わっているという状況です。そういったひとつひとつの整備を進めていった先に、今おっしゃったような統合ですとか、そういった話が出てくるのだろうなと思っています。</p> <p>児童クラブのお話もありましたが、これも改修が必要なおところがありますので、それらはひとつひとつ、個別施設計画に基づいて施設の管理というものを進めています。統合ですとか、そういった話はより長いスパンで考えることになるのかなと思っています。</p>
		委員	<p>私としては行政改革というのはコストを削減して効率のいい税金の使い方をするというのも大切ですが、一方で収入を増やす、人口を増やすということも重要だと考えます。そういった意味で、やはり高規格道路については早急をお願いしたいと思っています。</p>
		副市長	<p>委員がおっしゃるように丸岡インターからテクノポートへの高規格道路は県がやるのですが、これは市としても何年も前から要望しています。ただ国や県の子算の問題であったり買収の問題であったりと、なかなか思うように進まない現状もあります。それでも進捗状況としては少しずつ進んでいるところで、来年くらいには工事に入れるのかなというふうに思っています。そういった中で、今年は市の職員を3人、三国土木に派遣しておりまして、買収ですとかいろいろと協力していくことで、少しでも早く実現するよう働きかけているところです。</p>
		委員	<p>28番の文書配布業務というのは広報さかいのことを指しているのかどうなのかわかりませんが、広報さかいは結構見ないで捨てちゃうという方もいらっしゃるのですけれど、Web化というようなことはお考えですか。</p> <p>またコロナウイルスに関して、アプリを使ったクーポン発行というようなことをやっている事例があると思うのですが、坂井市ではそういうことはお考えですか。</p>
		総務部長	<p>広報紙の話ですが、これはホームページから見ることができず、「マチイロ」というアプリから見ることが出来ます。ただ高齢者の方ですとか、やはりそういったデジタル媒体の扱いに不慣れな方も多くいらっしゃいますので、当面紙媒体での配布というのは必要で、続けていきたいと考えています。</p>
		財政課長	<p>アプリ、クーポンのことですが、県のほうでもふく割というのをやっていますし、重複することもありますので、今のところは考えておりません。</p>
		委員	<p>確かにおっしゃることはわかります。コロナ渦では坂井市でも P a y P a</p>

II 会 議	2 坂井市行政改革の取り組み状況について	委員	<p>y還元をやってもらいまして、私くらいの年代であれば利用することもできて大変助かったのですが、ご高齢の方なんかは恩恵を受けにくくて、一部の方だけが得をしたみたいな現状なのだろうとは思っています。</p> <p>ですが近年 SDGs というとも言われています。「広報紙はいりません、ペーパーレスに協力します」という方もいらっしゃるの、いわゆる情報弱者の方への啓発活動のようなこともしっかりやっていただいて、そういう取り組みを進めることもお考えいただければなと思います。</p>
		委員	<p>8 番は三国駅の指定管理検討をということですが、指定管理者の選定は三年ほどで切り替えをしていると承知しています。こういったものを民間に任せるとすることで市の負担を減らすということであったり、例えば修繕に係る取り決めの見直しであったりということは非常に大事だと思います。また 20 番、地区集会施設の地元委譲というのも、やはり地域のものは地域でというふうに、なるべく民間に任せるとすることで、より積極的に進めていただければと思います。</p>
		会長	<p>全体としてはそのように進めていると思いますが、まだ残っている部分があると思うので、そこをより加速してほしいということですね。</p>
		事務局	<p>おっしゃるとおりで、基本的には積極的に指定管理制度の活用を進めたいと考えています。ただやはり施設によっては指定管理制度がなじまないものもございますので、そのあたりは住み分けをしながら個別に検討しているところです。また地区集会所のような施設についても、地元で使うものは地元委譲するということ、なるべく市の施設を減らしていこうというふうに進めてまいりますので、よろしくお願ひします。</p>
		委員	<p>ここには出ていませんが、人口増加のことです。今人口はやはり減っているのだと思うのですが、私が思うには子供を産むというより、仕事がないと都会からの U ターンですとか、そういったものはなかなか増えていかないだろうと思います。市としてそういった働く場所の確保であったり企業の誘致であったり、そういった取り組みはありますか。</p>
		会長	<p>雇用機会の確保をということかと思ひます。直接的には行革の範囲ではないかもしれませんが、いかがですか。</p>
		事務局	<p>行革で直接的に雇用を増やすということではないですが、企業誘致や UIJ ターンの促進といった取り組みは進めているところです。</p>
		委員	<p>これからの時代はエネルギー関連の企業の誘致であるとか、そういった方向で進めていただけるといいのではないかと思います。</p>
		事務局	<p>委員からのご意見として担当課に伝えます。</p>
		会長	<p>たくさんのご意見ありがとうございます。今いただいたご意見を踏まえまして、残り半年ほどですが、行革の取組を進めていただきたいと思います。</p>
3 今後の坂井市の行政改革について	事務局	<p>【資料 3】 今後の坂井市の行政改革について 説明</p>	
	会長	<p>これからの行政改革の進め方についてのご提案でしたが、これにつきましてご質問、ご意見等ございますか。</p>	
	委員	<p>3 年間延長をということでしたが、延長の期間中、今ある 52 項目の追加ということはお考えなのでしょうか。</p>	

II 会 議	3 今後の坂井市の行政改革について	事務局	今ある実施計画は今年が最終年度ということで、いったんこの段階で進捗状況を検証しまして、達成済みの項目は削除し、今後も継続するもの、見直しをかけるもののほか、新たに取るべきことについては新たに追加するというふうに考えています。
		会長	皆様からのご提案があれば、それらを取り入れるということもあろうかと思えます。そういったことも次回以降の議題となるのではと思います。
		委員	その追加項目というのは市役所で考えるのですか。
		事務局	市の内部の取り組みですので、基本的には市役所内部で作る予定です。
		委員	せっかくなので、たとえば各地区のまちづくり協議会に案内を出していただいて、提案を募るということではできませんか。いろんなまちづくり団体がありますので、各地域からいろんなアイデアが出てくるかもしれませんし、それらを取り入れることが可能であれば、よりいっそう市民参画で作り上げたということにもなると思います。ぜひご検討ください。
		事務局	今この場にもまち協から推薦いただいた委員さんもおりますし、委員がおっしゃるようにいろんな方面から意見やご提案をいただいて、取り入れるべきものは取り入れたいとは考えております。次回までに検討して回答します。
		会長	次の総合戦略、総合計画では行政改革を含めいろんな計画を取り入れる中で、そういった市民参画の機会はまだあるのかもしれませんが、その前段として今回の実施計画策定に広く市民の方に関わっていただくというのも良いかと思えます。
		会長	私の方からひとつ。行政改革大綱は7年度以降なくなるということですが、大綱的な意味合いのものは総合計画や総合戦略の中に含まれるということになるのでしょうか。
		事務局	おっしゃるとおりです。これまで行政改革は総合計画に先駆けて大綱を作成してきた関係上、行政改革大綱を作成し、それに沿うような形で総合計画を作成してきたところですが、今後は開始時期を令和7年度に揃えて、行革大綱の役割も総合計画に担ってもらおうということで、一本化していきたいと考えています。
		会長	わかりました。他の自治体の事例から申し上げますと、どうしても行政改革というものが総合計画の「おまけ」のような扱いになってしまうことが懸念されます。総合計画の中に盛り込む形になっても、しっかりとこれまでの行政改革大綱と同程度の重要性をもって作成していただければと思います。
会長	<p>このご提案に関しては委員の皆様のご了承いただけたということでよろしいでしょうか。はい、ではご了承いただけたということで。</p> <p>今回欠席の委員もいらっしゃいますので、この件については他の委員の方にもご意見があれば、そちらもご確認いただいたうえで議会に報告していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>		
4 その他	会長	議題は以上になりますが、その他について皆様からご意見等ございますか。	
	委員	新幹線ができればと、まあ坂井市には駅はないのですが、いろいろと変化があると思います。その後の展望についてはどのようにお考えですか。	
	会長	新幹線の影響でどのような変化があるのかということですが、いかがですか。	

II 会 議	4 その他	副市長	敦賀までの新幹線延伸ということで、主に観光面で、関東からのお客さんが増えることを想定しています。大きなところでは東尋坊と丸岡城周辺の再整備、あるいはゆりの里周辺と。そういった観光のまちづくりを中心に二次交通網の整備、また地域の活性化を図っていきます。
		委員	さきほどもお話ししましたが、企業誘致というのも関係すると思います。
		会長	<p>新幹線開業となるとおそらく福井駅が中心になるだろうとは思いますが、観光地は福井市内だけに集中しているわけではなく、勝山の恐竜博物館であったり、もちろん坂井市では丸岡城や東尋坊であったりと、福井県全体で観光客を増やすという広域連携が求められると思います。その中で坂井市に求められる役割は非常に重要かと思いますが、そこは副市長さんがおっしゃったようにいろんな整備をされているということで、それが大きな効果につながるのではないかと感じています。</p> <p>また委員さんおっしゃるように交通の便が良くなることで企業誘致であったり、新たな企業が出てくるといった、坂井市の産業構造の変化というのものもあるかと思っています。</p> <p>ちょうど総合計画の見直しのタイミングでもありますし、おそらく次の計画ではそういったところも入ってくるのだろうと思いますので、新幹線がひとつのきっかけとなって色々と変わっていくようなことは期待できるのではないかと思います。</p>
III 閉 会		会長	<p>それでは皆様、活発なご議論をいただきましてありがとうございました。皆様のご協力によりまして議事も無事に終了しましたので、また引き続きどうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>では進行は事務局のほうにお返しします。</p>
		財政課長	<p>会長ありがとうございました。また委員の皆様におかれても、長時間にわたりまして誠にありがとうございました。</p> <p>今回いただきましたご意見を踏まえ、また取り組んでまいりたいと思います。次回の会議は来年3月の開催を予定しておりますので、よろしくお願います。</p>